

JR連合

社員で考え社員のための労働運動を目指す企業内労働組合。
心とところをつなぐ相互扶助活動と、公正な社会を創ります。

ジェイアール・イーストユニオン
仙台地方本部



JREユニオン仙台地本

発行責任者 添田 寿男
編集責任者 齋藤 勝彦

〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺2丁目1-20 桜井コーポ405号室

TEL 022(352)4679 (FAX兼用)

第8回定期大会・第7回地方委員会開催！

JR東日本の未来に向け労使一体で
最大の経営危機を克服し、社会の構造変化を
先取りし
JR産業の変革を創り出そう！

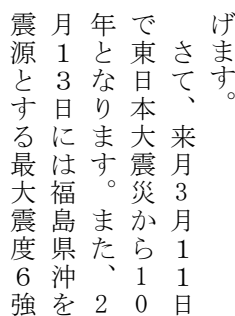


宮城県分会の佐藤代議
員を議長に選出、「会社
発足以来の経営危機であ
る。会社と共にどう対応
し乗り越えるか大事な大
会である。真摯な討議を
お願いします。」と議長
就任のあいさつをした。



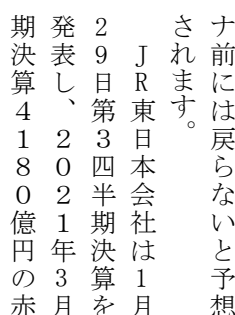
ジェイアール・イース
トユニオン仙台地方本部
は2月20日仙台市宮城
野区中央市民センターに
て、第8回定期大会並び
に第7回地方委員会を開
催した。
代議員と来賓、地本執
行部と最小限の人数、マ
スク着用・手指の消毒、
換気をしながら新型コロナ
ウイルス感染予防対策
を行い、開催した。

第8回定期大会並びに、
第7回地方委員会にご参
集の代議員の皆さん、大
変ご苦勞様です。
昨年7月に開催予定で
新型コロナウイルス感染
症拡大により9月に延期
し、更には年を開けた本
日、第8回定期大会を第
7回地方委員会と併設開
催となったことに対し代
議員の皆さまと、組合員
の皆さまへお詫び申し上
げます。
さて、来月3月11日
で東日本大震災から10
年となります。また、2
月13日には福島県沖を
震源とする最大震度6強
の地震が発生し、またも
や甚大な被害が発生しま
した。災害への備えは、
益々重要と考えます。



「安全は最優先課題とし
て取り組み、「すべての
みです。
一点目は安全の取り組
みです。
安全は最優先課題とし
て取り組み、「すべての

JR関係労働者の死亡事
故・重大労災ゼロ」を目
指してまいりましたが、
昨年8月以降6件7名の
労災死亡事故が発生した
ほか、重大事故に繋がり
かねない事象が続発して
います。「安全は絶対に
譲らない」を念頭に今後
も点検、事故の芽を摘み
取る活動を展開してまい
ります。
二点目は組織について
であります。
新型コロナウイルス感
染症拡大によりJR産業
の経営状況は、危機的状
況に陥っています。公共
的役割から事業を大幅に
休止できない鉄道バスは、
今後も厳しさを増しコロ
ナ前には戻らないと予想
されます。
JR東日本会社は1月
29日第3四半期決算を
発表し、2021年3月
期決算4180億円の赤
字から4500億円へと
下方修正しました。会社
は2年連続の赤字を絶対
避けたいと、今後さらに
コスト削減を実施すると
考えます。
イーストユニオンは1
月に未曾有の危機の中、



添田執行委員長あいさつ
(要旨)

2021春季生活闘争要求

1. 賃金引き上げについて
 - (1) 定期昇給の実施
 - (2) 賃金を含める労働諸条件の改善を求めため月例賃金の2%を求め。
 - (3) グループ会社社員を含む完全雇用を求め。
 - (4) 回答指定日については3月19日までとすること。
2. 諸労働条件について
 - (1) 就業関係
 - ①特別休日の付与日数(第57条第2項)
現行、「年間62日付与」を「年間65日付与」と改正すること。
 - ②年次有給休暇 使用単位(第83条第1項)
半日単位の使用について、該当する事由の各号を削除し、使用使途の制限を緩和(撤廃)すること。併せて請求手続(第84条第2項)について、半日単位の使用については、前日までとすること。また、時間単位の取得を可能にするなど、制度の運用改善を図ること。
 - ③保存休暇の使途(第87条第2項)
保存休暇の使途について、該当する各号を削除し、使用使途の制限を緩和(撤廃)すること。
 - ④テレワークについて
新型コロナウイルス感染症により働き方に大きな変化が発生した。在宅勤務及びサテライトオフィス勤務による労働環境の整備が必要と考える。
i) 労働時間管理を厳格化すること。 ii) 業務に必要な機材等は会社が支給すること。
iii) 通信費は会社が負担すること。 iv) その他必要な経費は会社が負担すること。
 - (2) 賃金関係
 - ⑤ 所定昇給額(第261条)
毎年4月1日に実施する「所定昇給額」について、各級一律に1,000円を増額すること。
 - ⑥ 割増賃金について(第327条)
割増賃金の単位を平日・B単価を140/100へ、D単価を150/100、E単価を160/100へそれぞれ引き上げること。
 - ⑦ 出向手当(第214条)
60歳未満の出向者に対し、若年出向手当を支給すること。また、特にグループ会社社員の指導育成にあたる出向社員に対しては指導教育手当を支給すること。
 - (3) 退職手当関係
 - ⑧退職手当の算定基準となっている第2基本給を廃止すること。
 - ⑨定年退職日を翌年の7月に統一すること。

雇用を守り、会社の維持発展に向けて「会社と共に！」JR東日本における真の改革に向けて「を発売し、3つの改革「社員の意識改革」「職場改革」「労使改革」を提起しました。

また、「変革2027」が目の前で現実起きていくと認識し、関連会社を含む社員とその家族を守り、労使が一体となりこの危機的状況をいかに乗り越えるか、職場に蔓延る一体感と危機感の欠如と空虚感を一掃する取り組みを断行することを

決意しました。国鉄改革を経験していない社員が多数となり、この間の順風満帆だった経営状況が経営陣、管理者、社員を含め危機意識が欠如し、会社発足以来の危機が一過性ではない構造問題に直面しているという認識がありません。

他労組は今回の危機的状況は労働者の責任では無い。早急に手を打たなかった経営陣の責任だと言わんばかりの組合もあります。

この危機を組織拡大強化への最大のチャンスと

捉え、JR連合ビジョンと、会社と共に、を未加入者、他労組、また新規採用者へ広げる運動を展開してまいります。この組織を維持発展させるには若い組合員が絶対的に必要です。我が組織にも停滞感がみえ隠れしていますが、今一度このピンチをチャンスへ変え、組織拡大への実践をお願いします。

三点目は春季生活闘争の取り組みです。

今春季生活闘争ほどこれまでにない非常に厳しい闘いとなります。イー

ストユニオンはJR連合の春闘方針に則り、第8回定期大会、第7回中央委員会の方針を決定し、2月10日に諸労働条件とあわせて会社へ申し入れを行ないました。

終わりに、労働組合の役割は、雇用の維持、働く者とその家族のしあわせ、賃金・労働条件の向上どれ一つも譲ることはできません。

「自信と確信、信念だけでは組織拡大は成りません。私たちにこの組織を大きくする責任があります。前を向く理由が

あるのです。」

この危機を突破し企業の維持・発展を成し得るのは私たちジェイアール・イーストユニオンしかありません。その誇りをもって運動を実践していきましょう。

来賓菅野中央執行委員長



取組と会社の情勢。JR連合の2021春闘方針とイーストユニオンの具体的要求について報告いただいた。

代議員からの主な意見

島田博文 代議員

- ・組織のあり方について
- ・一時帰休について
- ・財政関係の西暦と和暦混在について

石井稔 代議員

- ・会計の組織費について
- ・風規制などの運転再開までの時間について

小林俊一 代議員

- ・組織の現状について



令和2年度仙台地方本部

新役員
執行委員長

添田寿男 岩沼駅

副執行委員長

鈴木義一 JEPS仙台
事務センター(郡山)

齋藤勝彦 新幹線総合車
両センター

事務局長

柘窪吉則 白石蔵王駅

執行委員

青田節雄 新幹線総合車
両センター

橋 伸幸 郡山新幹線電
力メンテナンスセンター

特別執行委員

五十嵐優一 新青森新幹
線電力メンテナンスセン
ター

会計監査

渡辺 近 TSSリビッ
ト福島営業所

大泉浩康 多賀城駅

今大会にて退任された役員



飯野 浩 仙台駅

副執行委員長を退任され
ました。お疲れ様でした。

大会・委員会宣言(案)

本日、私たち、ジェイアール・イーストユニオン仙台地方本部は、宮城野区中央市民センターにおいて、「第8回定期地方大会」及び「第7回地方委員会」を併設開催し、安全の確立、2021春季生活闘争勝利、組織強化・拡大の取り組みについて、当面する活動方針を満場一致で決定した。

新型コロナウイルス感染症では、昨年4月に続き、現在は10都府県に緊急事態宣言が発令され、ワクチン接種による感染拡大防止に向けてはいるものの、収束まではなお相当の時間が必要とされる。そうした中、JR東日本は1月、今年度の通期業績見通しを下方修正し、想定外に収益の落ち込みを抑えることができない厳しい経営状況を示した。私たちは、今こそ、労働者の雇用を守り、会社の維持・存続とさらなる発展めざす運動を創造しなければならない。

まず、如何なる時も「安全の確立」は最優先課題である。全てのJR関係労働者の死亡事故・重大労災ゼロを目標に取り組みを進めていく。福知山線、羽越本線列車脱線事故、飯山線大根原踏切事故などの重大事故を決して風化させず、教訓とし、安全最優先の企業風土・職場風土を構築していかなければならない。コロナ禍においても弛まず、安全・安定輸送を築き上げ、信頼を構築することが今こそ重要である。なおも労災事故が多発する現状を真摯に受け止め、労働組合としてのチェック・提言機能を発揮し、安全は絶対に譲らないという信念のもと、技術継承・人材育成もふくめ、職場で、そして労使間での議論を深めていく。

2021春季生活闘争は、これまでにない厳しい春闘となるに違いない。JR連合の闘争方針を基に、定期昇給の完全実施と2%の月例賃金の向上をめざし、労働条件の向上、グループ会社を含めた、底上げ・底支え、格差是正に向けていく。人材確保が急務となる中、魅力あるJR産業を創造していくために、JRに働くすべての労働者のディーセント・ワークの実現と総合労働条件改善闘争に勝利しなければならない。JR連合の旗のもと、一丸となり、団結・闘争強化を図っていく。

JR東日本における労働情勢は依然として、多くの組合が乱立するとともに、組合未加入者が多くを占めている。なおも複数の組合に分散した革マル派浸透問題も抱える状況にあつて、正常とは言えない情勢はさらに大きな課題を抱えたままである。未組織労働者や社友会では、会社を、そして自らも守ることはできない。私たちは、「会社と共に」～JR東日本における真の変革に向けて～を発出した。その理念を、一人でも多くの将来の仲間たちへ浸透していくことが重要である。未来ある形を創造するために、躍進へと突き進むものである。

私たちは、真の労働組合運動を押し進め、あらゆる運動を組織拡大に繋げていく。JR連合20万人の総結集を成し遂げ、JR産業の発展と働く者の明るい未来を創造していくものである。そのために仙台地方本部は全組合員が一丸となり、飛躍を遂げるべく邁進していく。

以上、宣言する。

2021年2月20日

ジェイアール・イーストユニオン仙台地方本部
第8回定期大会 第7回地方委員会

総括答弁
柘窪 事務局長



コロナ禍 地震と大変な状況の中お集まりいただきありがとうございます。3名の方からご意見をいただきました。会社と団交や折衝等で議論

できる部分はしていく。国鉄から入社し赤字を経験したの私たち世代です。そのことを職場の中で若い人たちに話をしていただきたいたい当時の労使関係などについて話をしながらイーストユニオンの考えを伝えてほしい。組合あつての会社ではなくて、会社あつての労働組合だ。その中で雇用と労働条件を守る組合でなければならぬ。安全第一 本部と一丸

となつてやっっていく。組織拡大はJR連合ビジョンや会社と共にをもちに私たちの主張を伝えていただきたいたい。イーストユニオンを理解していただける仲間を増やそう。名取のオイスカに若い人に参加していただいた。仕事のやり方やボランティアについて教える良い機会となる。他の業種の方とも交流できる。その中でイーストユニオンの考えを主張していこう。

若くはないが、若くない良さがある。良さを発揮していこう。
今後の主な行事予定
3月9日(火)
宮交運 春闘勝利総決起集会 ハーネル仙台 18時30分
3月13日(土)
ダイヤ改正
第2回執行委員会 戦災復興記念会館 10時30分
宮城県分会第6回定期大

会 戦災復興記念会館 13時30分
JR連合東北地協春闘学習会 戦災復興記念会館 15時30分
3月24日(水)
連合宮城2021すべての働く者の底上げ集会 ハーネル仙台 18時30分
6月5日(土)
オイスカ名取ボランティア活動(予定)